

環境経営レポート

対象期間：2024年5月～2025年4月



発行日：2025年7月1日

 株式会社 KODAI

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です



®環境省
エコアクション21
認証番号0006914

目 次

1. 組織の概要(Plan)-3P
2. 環境経営方針(Plan)-4P
3. 環境経営組織表(Do)-5P
4. 環境経営目標(Plan)-6P
5. 環境経営計画(Plan)-7P
6. 環境経営目標に対する実績の評価(Check)-8P
7. 環境経営計画の取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容(Check)-8P
8. 環境関連法への違反、訴訟等の有無(Check)-9P
9. 代表者による全体の評価と見直し(Action)-10P

1. 組織の概要

(1) 事業所及び代表者

株式会社 KODAI 代表取締役 小鯛 信之

(2) 所在地(記載の全事業所が認証・登録範囲)

本社・工場 〒673-0514 兵庫県三木市志染町戸田1838-268
加古川工場 〒675-0113 兵庫県加古川市平岡町中野288-1

2021年5月より本社機能を加古川工場から三木工場へ変更

(3) 環境経営管理責任者及び担当者

環境経営管理責任者(統括):田中 祥之 (常務執行役員)

本社・工場担当者:大城 正人 (本社・工場 工場長)

加古川工場担当者:本田 英之 (加古川工場 工場長)

(4) 事業内容

建設機械足回り部品の溶接、機械加工及び組立・塗装
産業用ロボット部品の機械加工

(5) 設立

1962年

(6) 事業所の規模

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
資本金	1500万円	←	←	←	←	←	←	←
売上高	59億円	62億円	51億円	40億円	57億円	70億円	42億円	48億円
従業員数	135人	135人	136人	128人	132人	130人	118人	120人
敷地面積								
加古川工場	17181m ²	←	←	←	←	←	←	←
本社工場	17000m ²	←	←	←	←	←	←	←

注1) 事業年度:5月～翌年4月

注2) 2011年度から三木工場稼働、2019年度に三木第二工場完成

注3) 従業員数は期初の値を示すので、最新の値とは一致しない

(7) 許認可事項

無し

(8) 認証・登録範囲(事業活動)

建設機械部品・産業用ロボット部品の製造

2. 環境経営方針

株式会社 KODAI

環境経営方針

〈環境理念〉

当社は、建設機械部品の溶接・機械加工・組立や産業用ロボット部品の機械加工の事業活動を継続的に続けていくにあたり、「お客様に満足して頂ける製品を創ろう」を合言葉にしています。地球環境保全のために、事業活動に伴う製品サービスに関する環境経営を継続的に推進し、企業の社会的責任として積極的に自然との調和を考え、健全な環境保全活動に取り組めます。

製品に対する要求が例年厳しくなっていく中、人材不足の課題に直面しています。更なる自動化設備の導入を進め、効率化を推進し課題解消を目指します。また新工場の完成により、新たな事業への展開も行っていきます。

〈行動方針〉

当社は、建設機械部品の溶接・機械加工・組立や産業用ロボット部品の機械加工の事業活動を通じて、以下の項目を取組むことを宣言します。

1. 環境関連法規・条例・規則等を特定し遵守します。
2. 環境経営目標を定め、その目標を達成する為に全社一丸となって取組み、目標は定期的に見直して、環境経営の継続的な改善に努めます。
3. 環境教育を実施し、全従業員に対して環境意識の大切さを認識させます。
4. 環境負荷を改善する為に次の事項を重点的に取組みます。
 - (1)化石燃料の削減(CO₂排出量の削減)
 - (2)水使用量の削減
 - (3)廃棄物の分別の徹底と排出量の削減
 - (4)電力使用量の削減(CO₂排出量の削減)
 - (5)化学物質使用量の削減
 - (6)仕掛在庫の削減
 - (7)不適合品の低減
 - (8)グリーン購入
 - (9)製品への環境配慮
(自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目)
5. この方針について全従業員に周知すると共に、環境への取組みを環境経営レポートとして取り纏め、必要な情報を社会にも公表します。

制定 2013年5月7日

改正 2021年5月1日

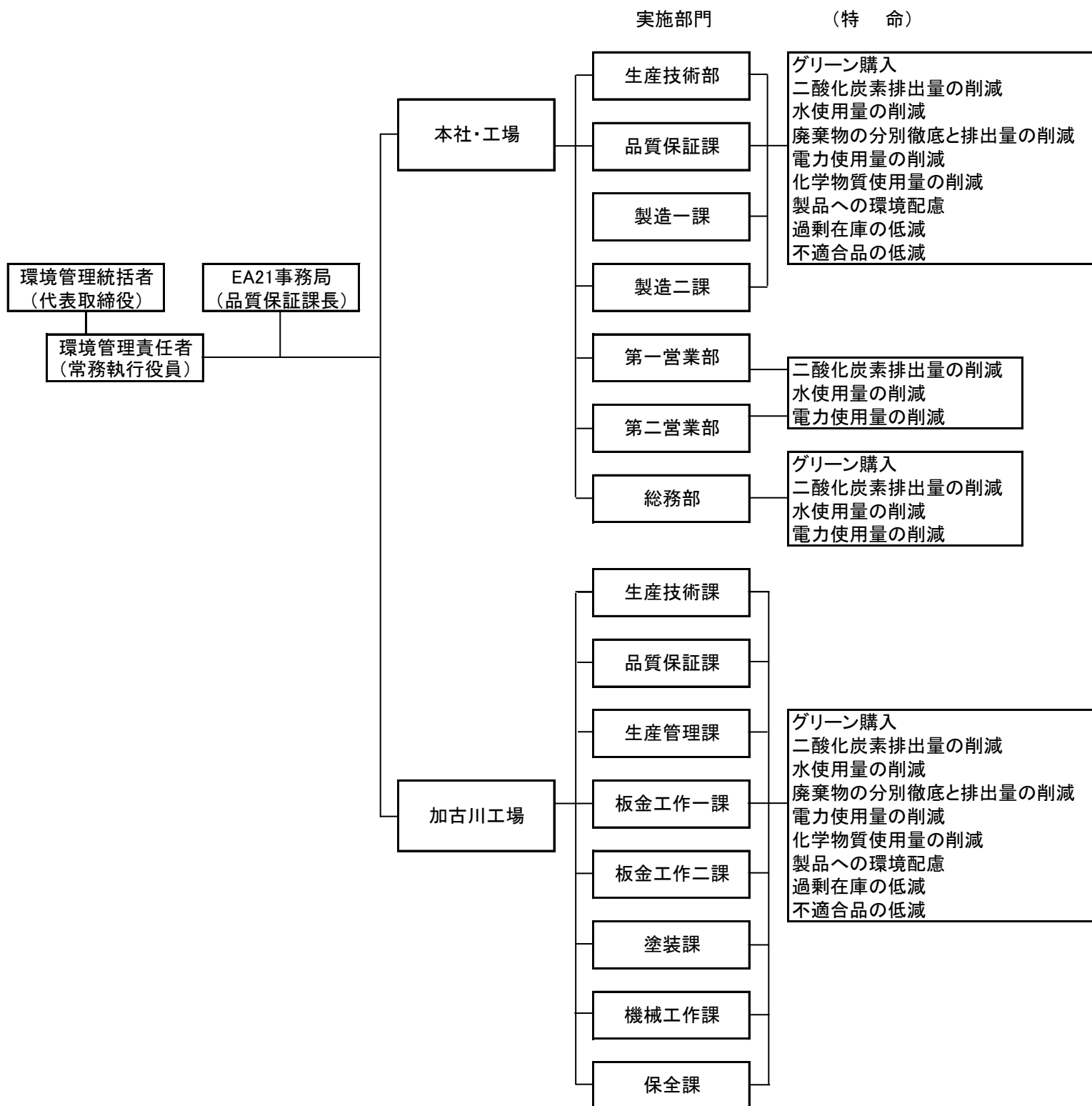
株式会社 KODAI
代表取締役 小鯛 信之

3. 環境経営組織表

EA21 環境経営組織表

制定：2010年5月7日

改定：2025年5月6日



職位	役割・責任	権限
環境管理統括者 (代表取締役)	①EA21の最高責任者 ②環境経営方針の制定 ③EA21システムの承認 ④EA21の経営資源の確保 ⑤環境管理責任者の任命 ⑥EA21全体の評価と見直し	EA21の確立・実行・維持・改善に関する 全権限
環境管理責任者	①経営者の代行 ②EA21のシステムの確立・実施・維持・改善 ③保管フロンの管理責任者	EA21の確立・実施・維持・改善に関する 指示の権限
EA21 事務局	①法規制等の把握及び監視測定、届出等、 法規制等の全て ②EA21マニュアルの見直し・改定 ③環境経営レポートの作成 ④環境経営計画の実績把握 ⑤教育・訓練の実施及び記録 ⑥その他環境管理責任者の支援	環境管理責任者の指示により、左記に 関する事項の全部門に展開する権限
EA21部門責任者 (各部門長)*	①部門のEA21に関する業務を確立・実行・ 維持・特命事項	左記の事項に関し部署内従業員に対し 指示、フォローする責任と権限
社員	手順・ルールを遵守する責任・特命事項	—
共通	①環境改善の提案 ②当該環境改善の実施	—
製造会議	毎月1回開催し、目標の達成状況及び 活動計画の実行状況を審議	環境コミュニケーション 情報伝達

4. 環境経営目標

1) 中期環境目標(本社工場・加古川工場)

環境経営目標(自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組)

項目	年度	基準年度	目標				
		2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
		2023年比>>>>	△0.5%	△1.0%	△1.5%	△2.0%	△2.5%
売上高 (100万円あたりに換算)	100万円	4283					
二酸化炭素	kg-CO ₂ /原単位	266.55	265.22	263.88	262.55	261.22	259.89
一般廃棄物	kg/原単位	2.06	2.05	2.04	2.03	2.02	2.01
産業廃棄物	t/原単位	0.0588	0.0585	0.0582	0.0579	0.0576	0.0573
水使用量	m ³ /原単位	0.354	0.352	0.350	0.349	0.347	0.345
化学物質使用量	kg/原単位	7.08	7.04	7.01	6.97	6.94	6.90
購入電力	kg-CO ₂ /原単位	238.42	237.23	236.04	234.84	233.65	232.46
化石燃料	kg-CO ₂ /原単位	28.13	27.99	27.85	27.71	27.57	27.43

自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目(部品の製造のため)はないので、数値目標は設定せず行動目標とする。

注1) 中長期目標は今回新たに再作成したので、基準年度を2023年に見直して作成した。

注2) 基準年度は5月から4月までの実績値で算出している。

注3) フロン保有量/原単位は、売上げに左右されて達成度が大きく変わってしまうので、フロン保有量の調査は毎年行うが、環境経営目標より2021年度から削除した。

注4) 資源使用量は、金属(鉄)、溶接ワイヤ、切削液、潤滑油、防錆油、紙をいう。

注5) 電力によるCO₂排出係数は、関西電力の2021年度調整後排出係数(残差)0.311kg-CO₂/kWhを使用している。

2) 2025年度の目標設定

2025年度は、2024年度の結果を基準年度として設定する。

5. 環境経営計画

主な環境活動取組内容

No.	取り組み項目	活動計画実施の内容
1	電力量の削減	1. 空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃) 2. 持ち場離れ時の節電励行の呼掛け 3. 空調フィルターの定期清掃 4. 休憩時間の消灯徹底 5. 残業時間削減の取組み推進 6. 使用電力量の公表・掲示 7. 板金製品の中国からの輸入推進
2	化石燃料の削減	1. エコ運転励行の呼掛け 2. 燃料記録徹底と社内公表 3. アイドリングに関する取り決め 4. 車両の点検励行(定期・始業)及び記録
3	一般廃棄物の削減	1. ゴミ分別の徹底(分類及び場所の指定) 2. ミスコピー防止啓発、裏紙の再利用の徹底 3. 多量コピーの削減検討、ペーパーレス会議の推進 4. 段ボール、雑古紙の無料回収推進 5. 機密書類の無料持ち込み推進
4	産業廃棄物の削減	1. 分類及び場所の指定 2. 廃棄物処理量の社内公表 3. 年間を通じての啓蒙活動 4. 作業ミスによる不適合品増加の抑制 5. 切削液や洗浄、化成処理液の濃度管理による排出量の削減
5	水道水の削減	1. 節水励行の呼掛け 2. 車両洗車の適正化 3. 使用水道量の公表・掲示 4. 切削液や洗浄、化成処理液の濃度管理による使用量の削減
6	化学物質使用量削減	1. 塗料膜厚の徹底管理 2. 化成処理工程の条件管理 3. 作業ミスによる使用量増加の抑制 4. 主要物質使用量の監視
7	環境に配慮した生産活動	1. 朝のミーティングにて不良発生の周知と注意掛け 2. 不適合品伝票を利用し、原因追究、対策を実施し再発を歯止め 3. 月1回品質会議を行い、品質改善活動による品質向上 4. 関連工程リードタイムの確認と見直し 5. 月末在庫カウントし、数量調整 6. 外注会社と連携し、委託工程の工数短縮検討 7. 会社敷地の清掃活動(毎週水曜日に実施) 8. 環境測定実施(粉じん、特定化学物質、有機溶剤) 9. 環境測定実施(振動、騒音) 10. 環境測定実施(排ガスVOC) 11. 環境測定実施(マスクフィットテスト)

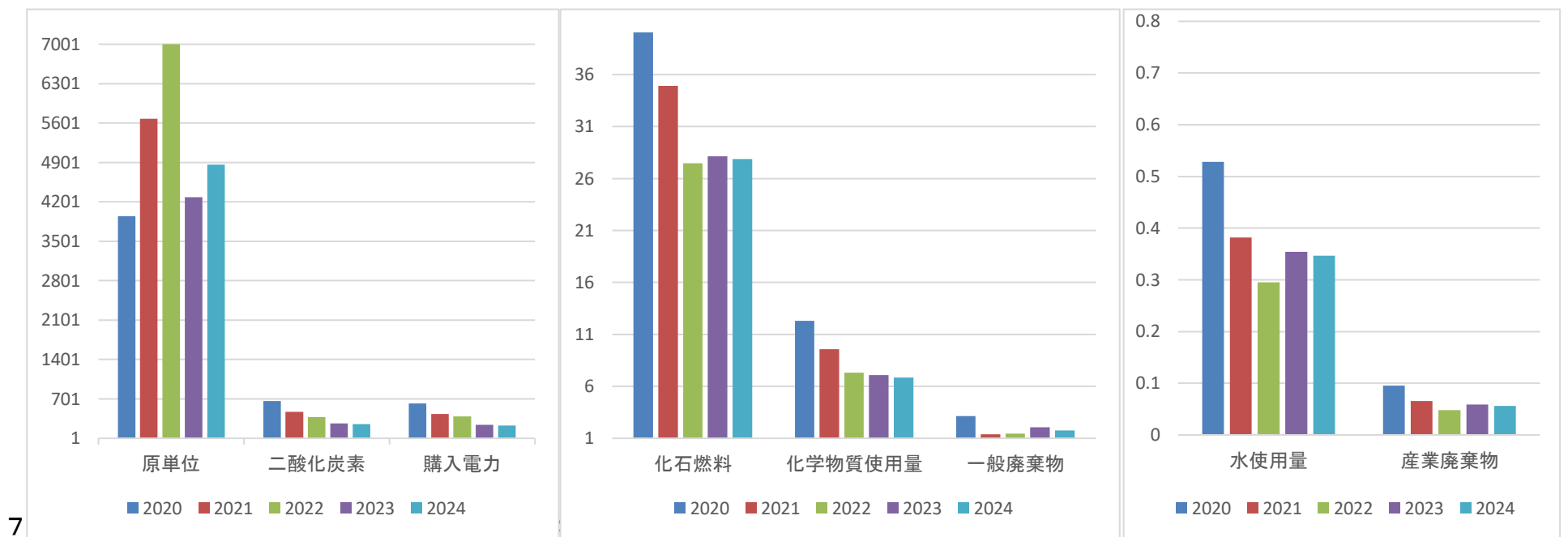
6. 環境経営目標に対する実績の評価

2024年度(2024年5月～2025年4月)の結果、年度目標(2024年5月～2025年4月)に対する達成度

No.	項目	単位	2024年度 2024.5～ 2025.4	2023年度 2023.5～ 2024.4	2022年度 2022.5～ 2023.4	2021年度 2021.5～ 2022.4	2020年度 2020.5～ 2021.4	前回達成 度%(結 果/目標)	今回達成 度%(結 果/目標)	前回 評価 (○/×)	今回 評価 (○/×)	今年度 目標値
1	原単位	100万円	4859	4283	7004	5676	3948					
2	二酸化炭素	Kg-CO ₂ /原単位	255	267	375	469	662	97	96	○	○	265
3	一般廃棄物	kg/原単位	1.77	2.06	1.45	1.37	3.15	152	86	×	○	2.05
4	産業廃棄物	T/原単位	0.0556	0.0588	0.0479	0.0657	0.0954	83	95	○	○	0.0585
5	水使用量	m ³ /原単位	0.347	0.354	0.295	0.382	0.528	53	99	○	○	0.352
6	化学物質使用量	kg/原単位	6.85	7.08	7.33	9.59	12.30	72	97	○	○	7.04
7	購入電力	Kg-CO ₂ /原単位	227.79	238.42	390.45	434.37	619.66	101	96	×	○	237.23
8	化石燃料	Kg-CO ₂ /原単位	27.88	28.13	27.48	34.93	42.75	81	100	○	○	27.99

注1:2024年度二酸化炭素総量:1242278.6Kg-CO₂

各指標過去5年間の推移



- 2024年度は2023年度の各指標を基準にして評価している。
2024年度は顧客の生産が落ち込んだ影響で、年度を通しては当初立てた売り上げ目標に対して大きくダウンとなった。それにより環境経営目標に対して8項目で目標をクリアすることが出来た。来期は今年度より生産は増えるが、今年同様目標達成に向けて従業員一同で取り組んでいきたい。
- 二酸化炭素排出量は目標を大きくクリアすることが出来た。中国からの輸入を継続しており、それにより溶接の社内負荷が軽減していることと、LEDの導入効果が出ているものと思われる。引き続き輸入数量を増やし社内負荷を下げることで在庫の適正化を図り、溶接工法を見直すことでの作業時間の短縮を行い、更なる排出量削減に取り組んでいく。
- 購入電力に関しては目標値をクリアすることが出来た。無駄な残業を控え適切な勤怠管理が出来たことと、現場改善活動で工数改善を行ったことが大きな要因と考える。引き続き工数低減等の現場改善活動を活性化すると共に、持ち場離れ時の消灯の徹底、省人化・無人化を促進し無駄な残業を減らすよう推進していく。
- 化石燃料については、生産の減少に伴いトラックでの輸送回数が減ったことで目標をクリアすることが出来た。来期は生産量が増えることと、中国からの輸入量増加でフォークリフトが増えるので、軽油の使用量が増加する見込みとなっている。
- 一般廃棄物排出量については、目標をクリアすることが出来た。生産量が減少した為、購入品も減り結果排出量削減に繋がったと考える。来期は生産が高い状況が続くが、ゴミの分別を確り行い削減に努めていく。
- 産業廃棄物排出量については、目標をクリアすることが出来た。塗装の減少に伴い、廃液等の回収量が減少したことが達成の要因と考える。中国からの輸入に使われるストレッチフィルムの業者買取りが可能になったのも一つの要因となっている。来期も無料回収業者を模索し排出量削減に努めるが、切板の輸入の開始により木くず回収の増加が秋以降に見込まれる為、目標に対して大きな乖離が出た場合は見直しを行う。
- 今年度の水使用量は目標を達成出来た。生産量の減少と海外向けの出荷数が下がったことが達成の要因と考える。来期は生産量は上がるが、日々出来ることを確り行い削減に取り組んでいく。
- 化学物質使用量は目標値をクリアすることが出来た。生産量が減少したことと、塗膜の計測も毎日実施し日々濃度調整を行っていることが達成の要因と考える。来年は生産量が上がるが、引き続き塗装作業者の教育を行うと共に適切な管理を行い削減に努めていく。
- 来期も不安定な状況下にあるが、2024年度の環境経営を継続する。

8. 環境関連法への違反、訴訟等の有無

1) 法的遵守義務を受ける主な環境関連法は次の通りである

法規名	実施事項	改正年月日	レビュー実施日	遵守状況
グリーン購入法(法律第100号)	グリーン購入法適合品購入の推進	2021.9.1	2025.1.21	○
廃棄物処理法(法律第137号)	事業者の産業廃棄物の処理・保管、マニフェストの管理	2022.6.17	2025.1.21	○
騒音規制法(法律第98号)	環境測定(第三者により年1回)	2022.6.17	2025.1.21	○
振動規制法(法律第64号)	環境測定(第三者により年1回)	2022.6.17	2025.1.21	○
フロン排出抑制法(法律第64号)	業務用冷凍空調機器等の定期点検	2022.6.17	2025.1.21	○
PRTR法(法律第86号)	特定の化学物質の排出量等の把握と届出	2003.2.3	2025.1.21	○
労働安全衛生法(法律第57号)	労働災害防止、安全衛生管理	2022.6.17	2025.1.21	○
消防法(法律第186号)	消防訓練、消火器の点検	2024.4.1	2025.1.21	○
高圧ガス保安法(法律第204号)	高圧ガス容器扱い	2024.10.23	2025.1.21	○
兵庫県環境保全条例(条例第28号)	規制基準の設定、規制基準(排出基準・設備基準)の遵守	2019.10.7	2025.1.21	○
環境基本法(法律第91号)	事業者の責務	2021.9.1	2025.1.21	○
循環型社会形成推進基本法(法律第110号)	事業者の責務	2012.9.19	2025.1.21	○
加古川市環境基本法令(条例第1号)	事業者の責務	2000.3.30	2025.1.21	○
三木市環境基本条例(条例第2号)	事業者の責務	2000.3.29	2025.1.21	○

2) 違反・訴訟等

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、過去3年間違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘や、利害関係者からの訴訟や苦情もありませんでした。

環境法令リストを作成し、適用条項の内容の改廃を毎年フォローしている。

9. 代表者による全体の評価と見直し

代表者による全体の評価と見直し	
実施日	2025年6月29日(金) 10:00~10:30
場所	本社3F会議室
出席者	小鯛社長、永松専務、田中常務、本田執行役員、大城工場長、小林副工場長
使用した資料	環境経営関係資料
評価	<p>昨年度は、顧客の生産減により当初目標に掲げていた売り上げ目標はクリアすることが出来なかった。その中で各項目の目標値をほぼ達成したことは従業員の皆様に感謝したい。今期は生産は上がるが、継続して目標を達成出来るよう全社で取り組んで下さい。新しい労働者も増えていますので、本活動内容を説明し理解させて下さい。顧客によってはカーボンニュートラルの導入も始めているところもあるので、勉強会などに参加して理解を深める様にして下さい。産業廃棄物削減に向けて無料回収業者を選定し行っている事は非常に良い活動です。更なる削減を目指して削減できる物は取り組んで下さい。従業員の協力が不可欠なので、各課で出来ることは確りと行って行って下さい。</p>
見直し	<p>今期も客先毎で生産数量に増減がありますので、早めに設備能力と人員負荷を検証する事。人手が足りていない部署は他課から応援を行うなどして各設備を平坦化し、無駄な残業にならないよう適切な勤怠管理を行って下さい。併せて、多能工化も推進し勤怠削減に努めて下さい。今期は中国からの輸入アイテムを増やすことで、社内製作量を減少させ環境負荷の削減に繋がります。</p> <p>対象機種も段階を踏んで順次増やしていく予定ですので、変化点は多いです。怪我、品質には万全の注意を払い、教育面も確りと行って下さい。</p> <p>今期も、環境経営方針、環境経営目標、実施体制は引き続きこのままで進める。</p>
指示事項	<ul style="list-style-type: none"> ①人員、残業の適切な管理徹底 ②省人化・無人化の促進 ③設備故障にならないよう予防保全の推進 ④板金製品の中国からの輸入量と輸入アイテムの増加 ⑤更なる中国材料の輸入促進 ⑥多能工化の推進
<p>2025年6月29日</p> <p>株式会社KODAI 代表取締役 小鯛 信之</p>	